



地域包括支援センターを ご存知ですか？

問い合わせ 介護高齢課地域包括支援センター ☎53・2111 (内線3432) 記事ID 0035493

地域包括支援センターは、高齢者の皆さんが住み慣れた地域で安心した生活を続けられるよう支援を行う機関です。保健師や社会福祉士、主任ケアマネジャーなどの専門職が、介護・医療・権利擁護といったさまざまな相談に応じます。高齢者の皆さんからのご相談に限らず、ご家族や近所にお住まいの人からのご相談もお受けいたします。必要があれば、さまざまな関係機関と連携し、安心して暮らせるようにお手伝いします。左記のご相談は、お電話・来所・訪問にてお受けいたします。お気軽にご相談ください。



● 近所に住む高齢者のこと

- ・一人暮らしの高齢者の家に、郵便物が溜まっている。
- ・隣の家から大声が聞こえてくる。

● 介護のこと

- ・介護サービスを利用したいけれど、どんな手続きが必要か分からない。
- ・家族だけで介護をすることが大変になってきた。

● 家族のこと

- ・離れて住む親が心配だけれど、コロナ禍で会いに行けない。

● 健康のこと

- ・外出の機会が減り、足腰が弱ってきたような気がする。

● お金や財産のこと

- ・忘れっぽくなり、お金の管理に自信がなくなってきた。

● 問い合わせ

介護高齢課地域包括支援センター
(☎53-2111 内線3432)

各支所の担当窓口

荒川支所 ☎62-3104	神林支所 ☎66-6113
朝日支所 ☎72-6887	山北支所 ☎77-3113

「世代を超えて、仲が良く、魅力と活気あふれるまちをつくらう」をスローガンに、「瀬波に住んでよかった」と思えるように活動しています。

環境美化や伝統文化を継承する取り組み、各町内の地域の茶の間の支援などにより、コミュニティの活用や地域児童の見守り活動などを行っています。

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により活動が制限されましたが、S-CAT（瀬波子どもふれあい隊）による児童の登校時などの見守り活動のほか、車が運転できずに買い物に行きにくい地域住民のために、むらかみ近所ささえ隊と連携して「せなみ買い物クラブ」という買い物支援事業を試行的に2回行いました。

今後は、継続的に買い物支援事業に取り組みほか、婚活や防災事業にも取り組んでいく予定です。

自然と景観が調和し、人と人とのふれあいがあり、支え合い安全で安心して暮らせて、歴史と伝統文化を大切にしまちづくりを目指して



▲せなみ買い物クラブ



▲S-CATによる見守り活動



まちづくり協議会通信

問い合わせ 瀬波地域コミュニティセンター ☎53・2005 記事ID 0012601

No.13